

第4回いしぐれワークショップ

身近なものをつかって遊ぼう：からだ

「体を使って建物を表現しよう：建築体操」



東京ビックサイト



代々木競技場



東京タワー

■日程

2009年3月11日（水）14：00～15：30

集合：10時50分 11：00 出発（給食をいただきます）

■場所

いしぐれホール

■内容

いろんな建物を自分の体を使って表現する。

一人での表現から運動会の組体操のように大勢で表現する。

■目的

- ・ジェスチャーのように最も身近な伝達方法の1つである体を使って表現することで、表現することの難しさと楽しさを知ってほしい。
- ・子ども達は建物のどんな特徴をとらえるのか。またそれを体で表現することによって、その建物の特徴が記憶に残ることを期待したい。

■ホップステップジャンプ

□ホップ「体操する」

建築の特徴についての講義と具体的なポーズの例を示す。その示した建物をスタッフの真似をしてやってみる。

□ステップ「表現する」

今度は一人ひとりが思い思いに表現する。1人、2人、3人と人数を増やしながら体を使って表現する。実際に行っている人は「建築体操ハカセ」が子どものポーズと建築を比較してコメントを述べているが、これは難しい。

□ジャンプ「遊ぶ」

体操で学んだことを生かして実際に人に伝えるジェスチャー伝言ゲームをして遊ぶ。

案「ジェスチャー伝言ゲーム」

- ・体だけで何を表現しているかを伝言していくゲーム。
- ・最初の人は1分の考える時間・一人5秒間で伝える。
- ・一回目は一人ずつで伝言、二回目は2人ずつで伝言。最後は5人でスタッフに伝える？
- ・早く答えたチームの勝ち。勝ち負けはなし。

■スタッフ

平松さん、神谷、西河、小久保、日置、山田、石井、牛丸、杉野、黒木

■人数

23名

・チームの構成

スタッフ2人（スタッフ9～10人）

子ども 5～6人（総計20人）

人数によって子どもと一緒にやるスタッフと指示やまとめるスタッフ

■タイムテーブル

※早めに学校に着いてちょっと学校を回る。（給食・見学）

14:00 早めに受付開始：いしぐれホール

14:10～集合、受付

14:20～アンケート

14:30～内容説明（PPで問題形式で今日の内容の説明）

14:35～体操開始 スタッフは「建築体操マン」子どもへのアドバイスと競争。2人～からは一緒にやる。

14:40～自由に体操する

世界遺産体操

14:50～各チーム発表（ジェスチャー伝言ゲーム）

15:05～集合写真（みんなで何かを表現した状態で撮影が理想）

15:20～アンケート、参加賞の配布、解散

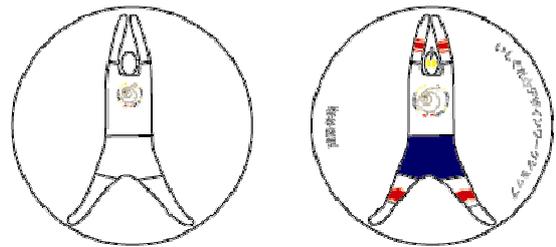
■必要な道具

プロジェクター、パソコン、動きやすい服装、名札、参加賞、鉛筆

■参加賞

建築体操隊員としてのいしぐれマークシール。（右は参考例）

いしぐれ小学校のポーズ



■ジェスチャークイズ

・問題

身近な建築の部分：階段・手すりなど

いしぐれ小学校の問題：中庭の滑り台など

・手順

1. 学生がジェスチャーゲームを行う（子どもに理解してもらい・答えるのも子ども）
2. 1チーム or 2チームずつジェスチャーゲームを行う。答え合わせ
3. 残りのチームがやる。